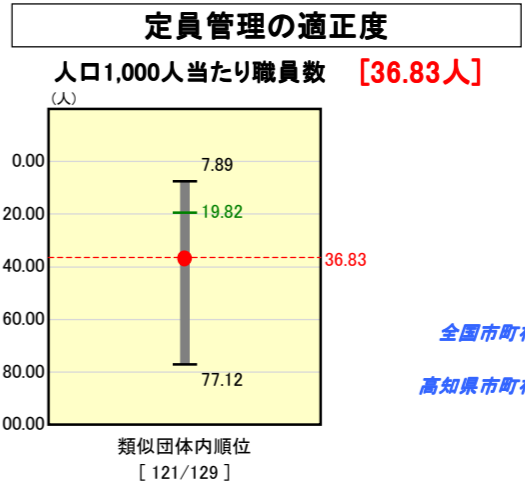
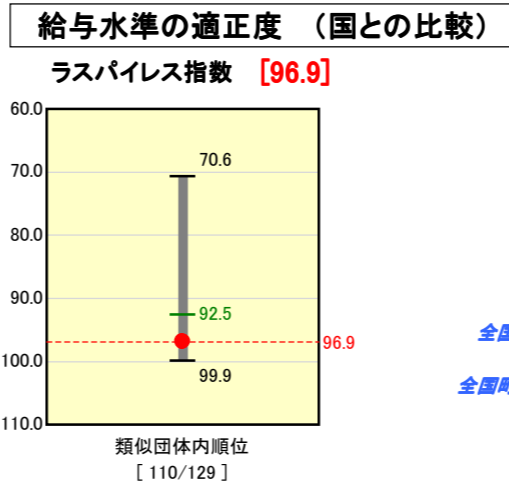
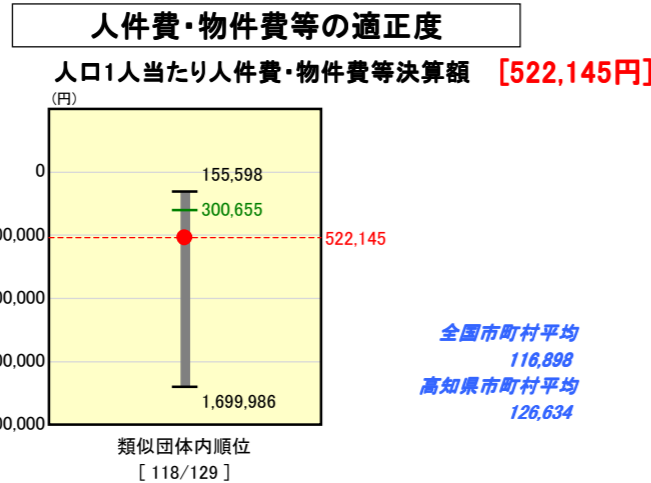
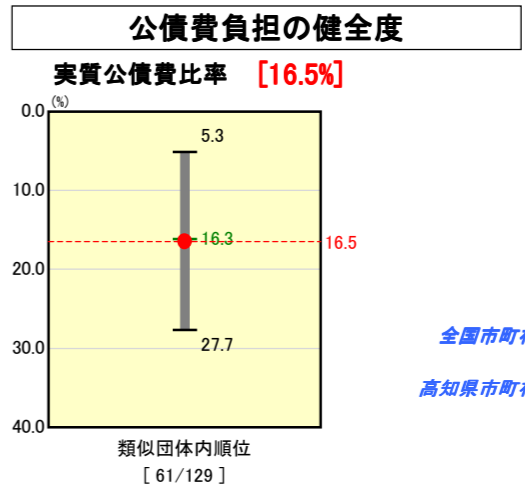
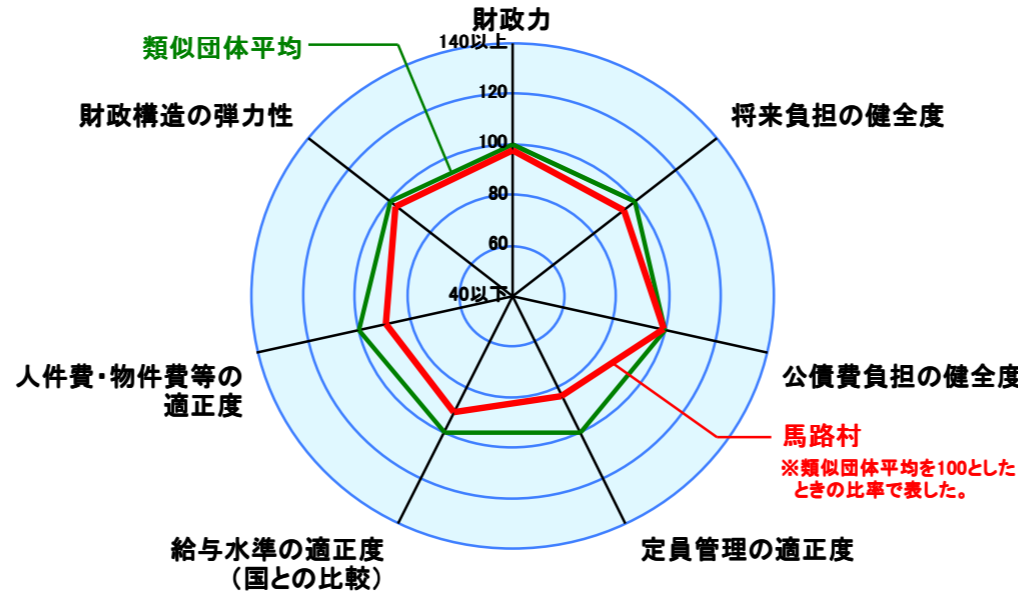
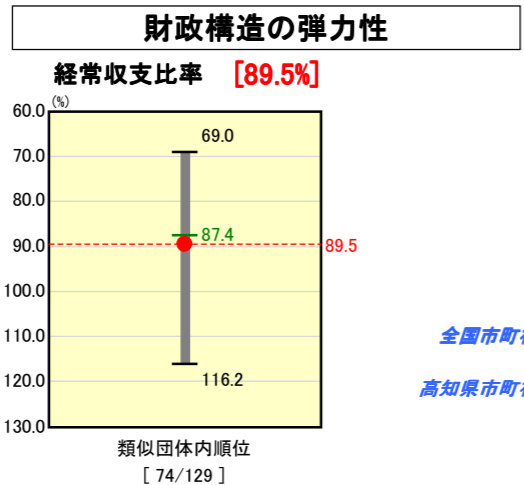
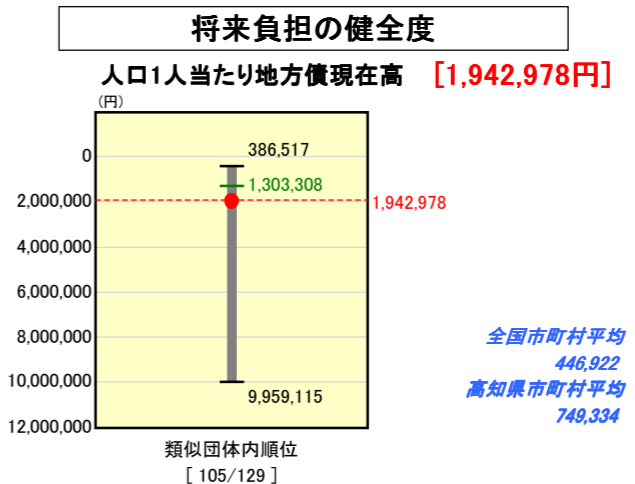
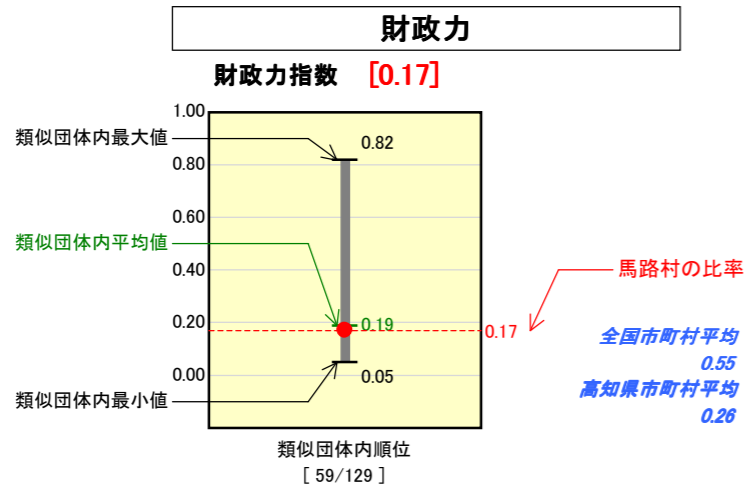


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

高知県 馬路村

人口	1,086	人(H20.3.31現在)
面積	165.52	km ²
歳入総額	1,708,981	千円
歳出総額	1,627,183	千円
実質収支	37,055	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数

- ・地場産業の育成を強力に進め、個人、法人の所得向上を図っているが、実績に結びついていない。特に、景気低迷のよる、法人税、固定資産の減価償却費の落ち込みが大きい。

経常収支比率

- ・全ての事務事業の点検・見直しを行っているが、類似団体平均を上回っている。今後も経常経費の削減を図る。

人件費・物件費等の適正度

- ・公共施設の建設地のほとんどが、民間借地であり、物件費を押し上げている。また、地域事情により役場支所1箇所、村立診療所と村立保育所を2箇所設置しており、人件費、物件費を押し上げている。さらなる抑制や指定管理による委託料の抑制に努めていく。

ラスパイレス指数

- ・総人件費の抑制に努めた。今後もさらなる抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数

- ・役場本所・支所・2箇所の診療所・2箇所の保育所など、地域の実情による行政施設の多さが職員数を押し上げている。必要なサービス提供と需要を見極め、適正化に努める。

実質公債費比率

- ・過疎債等有益な起債に努めてきたが、地場産業育成支援策の償還が始まり、実質公債費比率が類似団体より高めとなっている。償還額のピークは過ぎ、今後実質公債費率は減少していく。

人口1,000人当たり地方債残高

- ・地方債残高のピークを過ぎ、今後地方債残高も減少していく。施設整備事業からソフト事業への転換を図っており、類似団体の平均を下回るよう努力する。